

日頃より皆さまには、北陸労働金庫に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の経済は、長期化するロシアのウクライナ侵攻、さらには歴史的な円安の進行により、昨年からのエネルギーや原材料の価格高騰、さらに今年に入り、食料品をはじめとした全ての商品・商材の値上げが続いています。

そのような中、新型コロナウイルス感染症は、5月8日に感染症法上の分類が5類に引き下げられました。最初の感染者が確認されて以来、3年半に及ぶ新型コロナウイルス感染症への対応は、いま大きな転換期を迎えておりコロナ政策は「有事」から「平時」の状態へと移っています。ポストコロナ時代を迎える中、今春闘での大幅な賃上げ実現も相まって経済活動の正常化が期待されており、さらには緩和的な財政・金融政策の継続による景気の下支えにより、世界経済が減速する中で日本経済の回復が続くことを期待しています。

一方、弊庫を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少やマイナス金利政策の継続、キャッシュレス化やデジタル化の進展に拍車がかかり、大きく変化するとともに、厳しい環境が継続した一年となりました。

2023年度は第8期中期計画の初年度として、第7期中期計画を踏まえ、従来からの取り組みの“深化”と未来に向けての“成長”を目指し、働く人と家族の生涯にわたる生活支援の強化と環境変化に適応した取り組みを進めてまいります。



「ろうきん理念」に基づく役割を発揮し、労働者自主福祉運動を進展させていくとともに、健全経営の継続と安定した会員還元を実現します。また、サステナブル社会への貢献に取り組み、「ろうきん運動」を通じた社会貢献活動の展開とSDGs啓発活動の発信強化にも努めてまいります。

今後も、弊庫は勤労者のための金融機関として、「生活設計・生活応援・生活改善」を運動の柱とした生活応援運動(可処分所得向上の取り組み)を展開し、様々な金融サービスを通じたお客様本位の業務運営に努めてまいります。

皆さま方には、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月

理事長 **辻 政光**

当金庫の概況

(2023年3月末現在)

名称	北陸労働金庫
所在地	石川県金沢市芳斉2-15-18
設立	1954年5月1日 (2001年10月1日合併し、北陸労働金庫発足)
店舗数	25店舗(富山県8、石川県10、福井県7)
常勤役員数	483人
団体会員数	1,749会員
間接構成員数	387,483人
出資金	40億6百万円
預金残高	8,185億46百万円
貸出金残高	4,779億90百万円

全国ろうきんの概況

(2023年3月末現在)

金庫数	13金庫
店舗数	605店舗
常勤役員数	11,211人
会員数	104,447会員(うち団体会員数48,523会員)
間接構成員数	11,820,909人
出資金	969億45百万円
預金残高	22兆9,597億円
貸出金残高	15兆2,905億円